

# 県議会だより

## 県政の絆を!

### ～自立する私たち・活気あふれるふるさとに～

# VOI.6



不動産の信念を貫く男 毎日が真剣勝負

**小池 久長**  
こいけ ひさなが

所属党派 県民クラブ・公明  
副政策調査会長  
所属委員会 危機管理建設委員会

発行 県民クラブ・公明  
平成25年1月26日  
会長 小松千万蔵  
茅野市・富士見町・原村支部

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい年になることを願いながら、謹んでご挨拶を申し上げます。はじめに、一昨年(の)3月11日に発生しました東日本大震災から、間もなく1年10ヶ月が経過しようとしています。被災された全ての皆さま方に改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を願うものでもあります。さて、私たちのふる里の恵まれた自然環境は地域の誇りであり、今後とも環境に配慮した持続可能な地域戦略が必要です。長野県では本年度総合5ヶ年計画を策定し「確かな暮らしが営まれる美しい信州」(仮称)をスローガンに県政運営に努めてまいります。この圏域においては環境保全と自然エネルギーの活用、森林や里山・農山村の整備、交通体系の利便性の向上、災害に強い地域づくり等の目標が盛り込まれ併せて、農工商観等地元産業への支援も積極的に推進していくと記されています。その結果、将来を担う子供達や高齢者、障害を持つ方々が住み慣れた場所できいきと暮らし続けることのできるふる里にするため、本年度も、皆さまの立場に立って地域が抱える様々な課題や議会改革に県政に挑戦して参ります。是非、「心の声」をお聞かせ頂き、私と共に笑顔で暮らせる地域づくりを实践しようではありませんか。結びに、長野県民の皆さんの今年一年が幸せであることをお祈り申し上げます。

長野県議会議員 小池 久長

## 2012年県政おもなできごと (1月~12月までを抜粋)

### 「信州自然エネルギー元年」!

豊かな自然エネルギー 資源を活用!

2012年を「信州自然エネルギー元年」と位置付け、自然エネルギー資源を活用した事業の創出や地域づくりを推進する、「1村1自然エネルギープロジェクト」がスタートしました。また、県有施設の屋根を貸し、太陽光発電を行う「おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト」の始動、県営富士見高原産業団地へのメガソーラー事業の誘致及び事業着手、農業用水路を活用した小水力発電の実施、豊富な森林資源を活かした木質バイオマス発電施設設計計画等の推進など、自然エネルギーの利用拡大が大きく前進しました。



メガソーラーいいだ(飯田市)

### 2月 長野県の防災体制を強化

2011年に発生した東日本大震災や長野県北部の地震などへの対応により浮き彫りとなった課題を検証し、県の防災体制を強化しました。「長野県地域防災計画」に原子力災害対策編を新しく設けたほか、長野県災害対策本部組織の見直しなどを行いました。



県防災会議で防災体制の検討

### 5月 市町村との対話による県政の推進

県の「新たな総合5ヶ年計画」の策定に向け、県内10広域において「知事と市町村長との意見交換会」を集中的に開催し、活発な議論が交わされました。市町村長から頂いた意見・提案については、最大限計画に反映させ、今後の県政運営の参考とします。

また、県と市町村との共通の課題等について、対等・双方向の立場で話し合う「県と市町村との協議の場」を5月・11月の2回、平成23年度に引き続き開催しました。意見交換の結果、「長野県合同災害支援チーム(チームながの)」に係る三者協定の締結や、「地域発元気づくり支援金」の拡充・見直しなどの成果が上がっています。



県と市町村の協議の場

### 10月 長野県森林づくり県民税(森林税)の継続が決定

県内にいまだに手入れの必要な里山の森林が残されていることなどから、「長野県森林づくり県民税」は、9月定例会議で平成25年4月以降の継続が決定されました。

税額・税率は現行通りとし、里山の森林づくりを引き続き進めます。また、新たに間伐材の利活用や水源林の保全対策、人材育成などに取り組めます。



間伐実施で森林づくりが進んでいます

### 11月 県総合計画審議会から「新たな総合5ヶ年計画」について答申

県総合計画審議会の山沢清人会長(信州大学学長)が新たな総合5ヶ年計画について阿部知事に答申を行いました。この答申を受け、現在「長野県総合5ヶ年計画(仮称)」の策定を進めており、原案を12月25日に公表。県民の皆さまからご意見をいただいた上で、計画案を県議会平成25年2月定例会で審議していただく予定です。



知事に答申する山沢会長

### 【2012年11月定例会】の概要

知事から平成24年度一般会計補正予算案、食品安全・安心条例などの議案が提出されました。

また、我が国の経済情勢が一段と厳しさを増す中、国が11月30日に決定した経済対策に対応し、事業の早期実施による県内経済の下支えと雇用の創出を図るため追加の補正予算が提出された。本会議の一般質問(31人)委員会審議などで、経済雇用対策自然エネルギーの普及、新たな県立4年制大学など様々な課題について無活発に議論しました。

審議の結果、追加提出を含む経済雇用情勢への対応を盛り込んだ総額41億8,436万円余の補正予算など知事提出議案30件を4原案どおり可決しました。

**議題1 経済雇用情勢への対応**

厳しい状況が続いている県内の経済雇用情勢への対応について議論しました。

雇用安定! 活力向上!!

**議題2 自然エネルギーの普及**

自然エネルギー産業の国内による雇用創出や、民間企業から経営権へ舵を切った県産品の販売促進の促進策などについて議論しました。

**議題3 新たな県立4年制大学**

基本構想(案)に多くの意見が寄せられた新たな県立4年制大学設置に向けた今後の進め方や、国における大学設置認可基準の見直しなどについて議論しました。

4年制化 短期大学

[こころには県議会広報から抜粋]



### 【2012年11月定例会議 一般質問】 会期11月21日~12月7日

県営富士見産業団地で計画されているメガソーラー事業に関し県と土地賃貸借仮契約を結んだ合同会社の概要、連携協定の内容。

県内企業との連携や、大学との共同研究の取り組み等を質しました。答弁で合同会社は「地域貢献策」として県内の事業所新設、地元企業への発注地域資金の活用などを具体的に」とし、連携協定についても「地域貢献策の確実な実施を確保するもの」として地元自治体や各種団体との連携、自然エネルギー共同研究、県内企業との技術連携など包括的に定めたものであることが明らかになりました。また、高校卒業後の就業支援についての質問では緊急雇用創出金による時限的措置に留まっている「就職指導サポーター」の拡充をはじめ就業に降も継続的にサポートを行える環境整備の必要性を強く訴えました。

一般質問  
「自然エネルギー推進」  
「若者の雇用」を問う

# 豪雨被害対策・安心防災態勢の構築を

昨年7月28日深夜から29日未明にかけて茅野市北部を中心に局地的豪雨は、国道152号線の路肩崩落や別荘地での土砂崩れなど北山地区に甚大な被害をもたらしました。死者やケガ人が1人も出なかったことは幸いでしたが、このような自然災害を目の当たりにするたび「どれほどの文明が進歩しようと自然の猛威の前には人間がいかに無力の存在であるか」ということを強く思い知らされます。県と地域の密接な連携のもと一刻も早い復旧が進められるよう引き続き全力を尽くしてまいります。

また、近年局地的なゲリラ豪雨など予想が非常に難しい気象変化が散見され世界的異常気象への懸念は沈静化の兆しが見えませんが、誰もが安心して暮らせる防災体制の強化を今後も巨麓の皆さまと共に進めてまいります。

## 阿部知事に要望書を提出



平成25年1月6日消防出初式



平成25年1月16日知事に対し、所属会派県民クラブ・公明(小松千万蔵会長、8人)で予算要望書を提出しました。県の2013年度予算編成に向けた計500項目、JR中央東・西線、篠ノ井線の利便性向上や輸送力強化をJR側へ働き掛けることやリニア中央新幹線の山梨県中央駅と諏訪地域のアクセス向上に向けた同県側との協議、国の補正予算を積極的に活用し市町村の要望に沿った公共事業を行うことなどを求めた。知事は「県としても国の補正予算を積極的に対応して行きたい」と述べ方向性を示した。また雇用対策や景気浮揚など諸問題への解決に向けこれからも県民の皆さんの暮らしを第一に活動を続けてまいります。

(信濃毎日新聞2013/1/17掲載より)

## 危機管理建設委員会活動の記録

◇平成24年6月4日(月)～6日(水)に中南信地域で現地調査を行いました。飯田建設事務所など11現地機関と道路事業など9か所の調査を行いました。



道路改良事業小道木(飯田市)バイパス調査

◇平成24年10月23日(火)～25日(木)宮城県・岩手県5箇所を視察し宮城県庁(仙台市)で復興、復興計画等について説明を受けました。



復興庁宮城復興局(仙台市)の視察



いまだ癒えない災害の爪痕の状況



釜石鶴住居町地区画整理事業の視察

## 【身近の情報】

県富富士見高原産業団地で行うメガソーラー事業のための土地賃貸借仮契約と自然エネルギー普及活動等の連携協定の調印式を県庁で開催しました。調印は、シャープ株式会社、同社100%出資の合同会社シャープ富士見ソーラーエナジーと県の間で行われ、発電事業のほか、「自然エネルギー信州ネット」や県内大学との共同研究、小中学校での環境学習なども連携して推進します。今後建設されるメガソーラーは、最大出力9メガワットで内陸部最大級。年間発電量は、約1万700メガワット時で一般家庭約3,000世帯の年間消費量に相当します。



**議員報酬削減を目指して**  
長野県議会選挙において、多くの候補者が議員報酬削減・議会改革を掲げ戦いました。県議会議員になって驚きました。が、結構な出費があります。しかし、慣例を踏襲しては改革は一歩も進みません。そこで私は、手始めに特別の事情のある場合を除いて弔電の送付を遠慮させて頂きました。既に松本市や伊那地域では、申し合わせによって廃止されており。この地域も遅れをとらないよう進めていくために、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◇平成24年9月6日諏訪建設事務所と富士見町建設業協会と河川、県道の危険箇所5箇所を調査しました。



## 募集

議会見学会開催  
2月定例会

ご希望の方は右、事務所までお申込下さい。

県議会議員小池久長事務所  
県民クラブ・公明 茅野市・富士見町・原村支部

〒399-0214  
諏訪郡富士見町落合9984-1062 A201  
TEL 0266-61-0501  
FAX 0266-61-0502  
E-mail hisanaga@koikehisanaga.com  
http://koikehisanaga.com

